

YKKセンターパーク(富山県黒部市)

文責：富山県立大学 鈴木真由美

(2022年8月訪問)

今回は、富山県黒部市YKK株式会社 黒部事業所内にある、「YKKセンターパーク」を紹介します。YKKは日頃から目にする機会も多いファスナーやスナップ・ボタンなどを製造・販売しています。1934年「サンエス商会」として創業、その後、「吉田工業株式会社」に社名を変更し、英文社名の「Yoshida Kogyo Kabushikigaisha」の頭文字をとって商標を「YKK」としました。そして1994年に商標を採り入れて社名を「YKK株式会社」としました。

「YKKセンターパーク」はYKK創業75年を機に整備が進められ、2009年4月18日に一般開放されました。更に2015年の北陸新幹線開通に合わせ、2015年4月28日にリニューアルしています⁽¹⁾。園内は東西に「産業観光ゾーン」と「ビジネスゾーン」にわかれた76,600m²の広大な敷地を持つ区画で(図1)、一般来場者には東側の「産業観光ゾーン」が開放されています。このゾーンにはYKKのものづくりを中心とした展示とYKK創業者の吉田忠雄氏の名を冠したホールを有する「丸屋根展示館1号館」、YKKの技術の歩みを紹介する展示にカフェ & ラウンジが併設された「丸屋根展示館2号館」の二つの建物の他、周囲に立山連峰を望みながら散策が可能な自然豊かなエリアが広がっており、家族連れにもゆっくりと楽しめる空間となっています。

アーチを平行に押し出した形、いわゆる「かまぼこ型」のボールド屋根を持つ丸屋根展示館(1号館・2号館)は、工場内に現存する一番古い建屋でファスナーの基布紡績工場として1958年に建設されたもので、この工場建設をもってファスナーの完全一貫生産体制が達成されました。この工場建屋の一部を残し、改修したうえで展示館として活用しており、長期にわたって適切な維持保全を実施した、あるいは優れた改修を実施した優秀な建築物に与えられる第20回BELCA賞(ベストリフォーム部門)を受賞しています(図2)⁽²⁾。

「丸屋根展示館1号館」の入り口を入ってすぐ、「YKK



図1 YKKセンターパーク全景(YKK提供)。

のものづくり」と書かれた案内に従って進むと、ウエルカムホールの巨大なスクリーンの迫力ある映像が出迎えてくれます。続く「ファスナーづくり」エリアでは、ファスナーの製造方法、ファスナーの仕組み、品質チェック技術が詳しく説明されています。樹脂ファスナー(ビスロンファスナー、コイルファスナー)の他、金属ファスナーの素材やファスナーエレメント(ファスナーがかみあう部分：務歯(むし))の前段階であるYバーなども展示されています。また、このエリアの中心には気密性に優れたYKKの特殊ファスナーが採用されたオレンジ色の与圧服(スペースシャトル打ち上げ時と帰還時に着用する船内服)が展示されています(図3)。続く「窓づくり」エリアでは、様々な技術で作られた窓や部品が数多く展示されています。最近よく見かけるようになりつつある複層ガラスに加え、完全樹脂のフレームに2つの空気層を設けた3枚のガラスから成るトリプルガラスの窓とその断面、各国の文化や厳しい自然環境のニーズに対応した様々な窓の実物もご覧いただけます。ポップな絵柄の街並みがデザインされた「YKKタウン」に足を踏み入れると、ドーム型の黄色いエマージェンシーユニットの実物の展示が目を引きまします。これは骨組みが不要なエア一式テントで、様々な形状のユニットを組み合わせることでテント空間の拡張や機能付与が可能です。ユニットの接続部分に気密性・防水性に優れた特殊なファスナーが使われており、難民キャンプで医療活動用テントとして実際に利用された実績があるそうです。他にもオイルフェンスや漁網などの産業資材、アパレル用品、バッグやベビーカーなどの様々な製品に加え、環境配慮型(マテリアルリサイクル)ファスナーなど、多種多様なフ



図2 丸屋根展示館(2号館)(YKK提供)。



図3 丸屋根展示館1号館内部の様子(YKK提供)。



図4 ファスナーチェーンマシン(YKK提供).

ファスナーが展示されています。北陸新幹線の座席のヘッドレストの可動機構にもYKKのファスナーが使われています。ここで展示されている展示物は実際に触っていただくことができます。化学防護服に採用されている高水密・気密性が担保された特殊な金属ファスナーには眺めるだけでなく、是非スライダを動かしてみてください(とても固いです!)

また、1号館には「創業者 吉田忠雄ホール」が設けられ、YKK創業者の吉田忠雄氏の歩みに加え、経営哲学「善の巡環」や完全一貫生産に至った理念など、ご本人のインタビューを交えたビデオや年表、多くの動画や吉田氏ゆかりの様々な品々と共に詳しく紹介されています。こども向けの映画室や展示コーナーもあります。こちらは2019年に新設・整備されたエリアで、お子さんも楽しみながら吉田氏の夢や考え方などに触れることができます。

隣の「丸屋根展示館2号館」に入るとすぐに、日本機械学会より2011年に機械遺産第49号に認定されたファスナーチェーンマシン(YKK-CM6 1981年製 図4)が目飛びこんできます。この機械はYKKの特許第一号である金属ファスナーエレメントの間欠植え付け機能に加え、エレメント打ち抜き機能を備えた完全自社開発機で、当時世界最高水準の性能を有したものです。

科学館で見つけた金属材料!“自社開発の金属素材・製品”

YKKグループでは素材開発ならびに製品の製造、品質チェックに至るまで全て自社で行っており、ファスナーと窓の技術史が実際の製品展示や様々な動画で詳しく紹介されています。2号館の一角には製品の製造に用いられている様々な金型が多数展示されており、大小様々な金型が並んでいる様子は圧巻です。残念ながらこの記事では写真をご紹介しますことはできませんので、是非足を運んでいただき、時間をかけて

ゆっくりとご覧ください。これらの金型にも素材から自社開発されたものがあるとのことで、金属素材に関するエリアと合わせて会員の皆様にも興味深くご覧いただけるものと思います。また、窓のエリアでは(人によっては)懐かしさを感じる窓から最新の窓まで、歴代の窓がずらりと展示されており、その技術の変遷を目の前で感じることができます。更に、個性的な螺旋状の形状で有名な名古屋にあるモード学園スパイラルタワーズに使われているカーテンウォールの実物を間近で見ることができます。

2号館では小学生以上を対象としたファスナーの手作り体験が可能です(要予約)。ファスナーのしくみを学びながら約40分かけて昔の方法(手作業)でファスナーを作ります。完成したファスナーは記念品(キーホルダー)として持ち帰ることができます。また、併設されたカフェ&ラウンジではYKKブラジル農園のコーヒーとオリジナルスイーツ、軽食を味わうことができます。陽の光を贅沢に取り入れたラウンジの開放感溢れる大きな窓の外には「芝生広場」が広がり、晴れた日にはその奥に雄大な立山連峰が望めます。また、形状保持ファスナーを使用したグッズや、また、色のバリエーションが楽しいファスナー型のネックストラップ、ファスナーポーチなど、ここでしか手に入らないオリジナルグッズを購入することもできます。

丸屋根展示館を囲む「ふるさとの森」「さくらの森」と名付けられたエリアは、黒部本来の自然の再生をめざし、黒部川扇状地に原生していた樹木の種子から育てた苗木20種2万本を植樹した緑豊かな公園です。カフェ&ラウンジで香り高いコーヒーを楽しんだ後は探検マップを手にゆっくりと散策に出掛けてはいかがでしょうか。様々な生き物、植物を発見し、触れ合えば黒部の豊かな自然を更に深く感じることができるでしょう。

文 献

- (1) YKK株式会社ホームページ「ニュースリリース・最新情報」(https://www.ykk.co.jp/japanese/corporate/g_news/index.html) (閲覧日: 2022年8月15日)
- (2) 公益社団法人ロングライフビル推進協会(BELCA)ホームページ「第20回 BELCA 賞ベストリフォーム部門表彰物件YKK丸屋根展示館」(<http://www.belca.or.jp/b104.htm>) (閲覧日: 2022年8月15日)

(2022年8月24日受理)[doi:10.2320/materia.61.900]

YKKセンターパークへのアクセス

(〒938-8601 富山県黒部市吉田200)

- ・北陸自動車道「黒部IC」より車で15分
- ・あいの風とやま鉄道「黒部駅」より車で約10分
- ・富山地方鉄道「電鉄黒部駅」より車で約10分
- ・あいの風とやま鉄道「生地駅」より徒歩15分
- ・北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」より路線バス(新幹線生地線)で約20分

URL: <http://www.ykkcenterpark.jp>

※コロナ感染拡大防止のため、開園時間やファスナー手作り体験については変更・休止することがあります。あらかじめホームページでご確認ください。

